

憲法9条守れと街頭宣伝

五月三日は憲法記念日でしたが、「上越9条の会」の一周年記念集会がありました。

浄土真宗本願寺派の浄福寺松山公昭住職が、本願寺教団が先の戦争に協力したことを反省して、今は平和のために活動していることを話されました。

長野の9条署名をすすめる会の木継勇一氏は、長野県で200を超える会がつくられ、活動している経験話を話されました。

いずれも感動的、教育的な話でした。

翌4日、上越市議員団4人そろって「憲法守れ」と、市内を街宣しました。午前は、直江津から、高田の四九市、北城町4丁



五月二十二日に、正副議長を改選するための臨時議会が開かれます。法律では「任期4年」となっていますが、上越市議会では2年目に辞職し、改選することになっていきます。

ところでこの正副議長選挙ですが、これまで誰が立候補しているのが明らかにされないまま、本会議で投票して選挙していました。そのため、本人にその意思がないのに票が入ってビックリということもありました。

議会の他の人事なども併せて改選しますが、それを話し合う各派代表者会議で、正副議長選挙のあり方が議論されました。わが党を含むいくつかの会派から、「だれが立候補しているのか判らないで選挙はないのでは」「私を議長にしてください」と手を挙げるべきではないか

議長選挙 立候補者は手を挙げて

という意見が出されたのです。さらに、「全議員の前で所信表明をするべきだ」という意見も出てきました。

上越市議員団では、以前から議長選挙などでのいわゆる「根回し」なるものに疑問を持っていました。ですから、こうした提起・議論には大賛成で、ぜひ実現させたいと思っています。

しかし「今回は従来方式で」と、こうした議会改革・活性化に消極的な会派や議員もいるようです。合併して最初の改選だからこそ断行すべきだと思えます。

議会生活の大きな課題の一つだとも思います。

日本共産党上越市議会議員杉本敏宏の
市政レポート
 2006年5月14日 104
 発行 杉本敏宏事務所
 上越市東本町5丁目1番38号
 TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

南葉山

毎年4月末に、南葉山に登ることにしています。天気回りが気になりましたが、朝から晴れ上がっていましたので、今年も行ってきました。朝6時45分に家を出て、戻ってきたのが10時40分でしたから、おおよそ4時間の登山でした。

途中の車道には何台も駐車していて、おそらく山菜取りでしょう。路肩には残雪があります。ロッジまでは雪が割ってありましたが、キャンプ場からはもう雪です。駐車場には1台駐車していました。先客があるようです。

この時期は、キャンプ場から頂上め



南葉山頂付近から見た火打山と焼山

ざして一直線に尾根を登ります。キャンプ場の中に雪が消えたところが少しだけあり、カタクリとシヨウジョウバカマが咲いています。マンサクの林があるのですが、まだ固く芽を閉じています。

木落としにつながる急斜面で、アイゼンをつけて降りてくる人に出会いました。車の主でしょう。それにしてもアイゼンを着ける状態ではないのです。この坂を登れば頂上への緩やかな登りに変わります。ブナの根元の感じからすると、残雪はまだ2〜3mはありそうです。

緩斜面に出ると、ブッシュのようになったブナの梢越しに、妙高山、火打山、焼山が見られます。これもこの時期だからのことです。昨年はブナの実が豊作だったようで、あちこちにイガが落ちています。

頂上で休んでいると上がってくる人があります。ガス水道局のA課長でした。スキーで降りるのだそうです。下り始めてすぐ、また一人上がってきました。

広い緩斜面ですから降り口を間違わないように注意が必要です。急斜面はグリセードで降りよつとしたのですが、雪がザクザクで思うように滑れません。それでも沢筋を一気に下り、キャンプ場へ登り返します。途中で、スキーを担いだ人が二人、登っていききました。キャンプ場に出る頃、A課長がさつそと滑り降りてきました。

ロッジに戻り、まだ午前中でしたが、帰宅しました。

火打山

五日、火打山まで登ろうと思っかけていたのですが、高谷池ヒュッテで戻ってきました。思った以上に時間がかかりすぎてしまったためです。以前は、「なんとしても行こう」という気持ちが強かったのですが、最近では、「まあこの位でいいか」と、ついつい妥協してしまいます。やはり年ですかね。

今年はやっぱり雪が多いですね。笹ヶ峰の駐車場、20台位しかスペースがありません。登山口の駐車場は存在すら判らない常態です。明星荘は雪で押しつぶされたようです。

私は、十二曲を登りましたが、黒沢をつめる人の方が多いようです。その十二曲、見えるのは大きなブナやダケカンバだけであとは一面の雪です。

稜線に出るとスキーを担いだ男女が降りてきました。難しかったのでしよう。樹林の急斜面ですから。富士見平の雪原で、5人組と出会いました。

黒沢岳のトラバースは、スキーで足跡が踏みつぶされています。ヒュッテに向かって登っていくと、屋根が現れてきますが、見えるのは二階の窓の上までです。ここも豪雪だったのですね。

それにしても4時間とは、かかりすぎましたね。

ヒュッテの中に入ってみました。いつも売っているビールやワインが売られていないのが不思議でした。ヒュッテの管理人に「コーヒー」をご馳走になっ



たのですが、その時「冬の間に盗難にあった」という話を聞き、愕然としました。厳冬期登山のためにデポしておいた食料などが盗難にあったという話を時々聞きますが、山の中でこんなことが起きるなんて、異常な事態ですね。午後になると山々に霞がかかり始めます。すぐ近くの火打山でさえ、何かはつきりしません。暑いくらいだったため、雪はザクザクに腐っていて、快適に下るつもりが、ぜんぜん快適じゃありません。ひたすら樹林の中を下り、駐車場をめざします。

杉野沢で入浴し、帰宅しました。国道も、高速道路も、上り線が渋滞していました。